

2024年4月24日

小松市教育委員会 教育長 山本民夫 様
教育委員 様

教育を考える会・小松 代表 辰己 栄

教科書採択に関わる教育委員会会議のすみやかな全面公開を求めます。

小松市では、2020年中学校教科書採択において、選定委員会で少数の支持しか得られなかった育鵬社版歴史教科書が、教育委員会会議においては全会一致で採択されました。私たちはこのような不明朗な採択がなされたことは、教科書採択に関わる諸会議が非公開で行われていることにも原因があると考えます。

全国的には、大阪市、枚方市、横浜市、藤沢市など多くの教育委員会で採択に関わる教育委員会会議の公開が実施されています。県内でも羽咋市、中能登町で教科書採択に関わる教育委員会会議の公開がなされています。また、加賀市では採択に関わる教育委員会会議の一部公開が昨年度実施されました。なお、金沢市では教育委員会会議の議事録において氏名公表が昨年度から実施されました。小松市においても教科書採択に関わる教育委員会会議の一日も早い公開がなされるよう切に希望します。

ところで、2020年小松市では教育委員4人の内2人が選定委員を兼任していました。つまり、どの教科書を採択するかを決定する教育委員会会議のメンバーが推薦する立場の選定委員でもあるのです。選定委員は様々な資料をもとに、公正な立場で推薦を決定する。それを受けて最終決定をするのが教育委員です。私たちは、このように両方を兼ねるのは公正を欠くことになると考えます。教育委員が選定委員を兼ねることがないよう改善されるよう希望します。

賛助団体

九条の会・小松 代表 池田喜久
石川県退職女性教職員の会小松支部 代表 松山昭代